

問題訂正

問題訂正

地理歴史「地理B」

149ページ 第3問 問3 選択肢

(誤) ④……, アラビア語が……

(正) ④……, トルコ語が……

地 理 B

(解答番号 ~)

第1問 次の図1は、南極観測拠点の一つである日本の昭和基地(地点P)を中心とした正距方位図法によって描かれている。図1中の実線で描かれた直線は、昭和基地を通る経線を示し、破線dは、ある緯線を表している。図1を見ながら下の問い(問1～7)に答えよ。(配点 20)

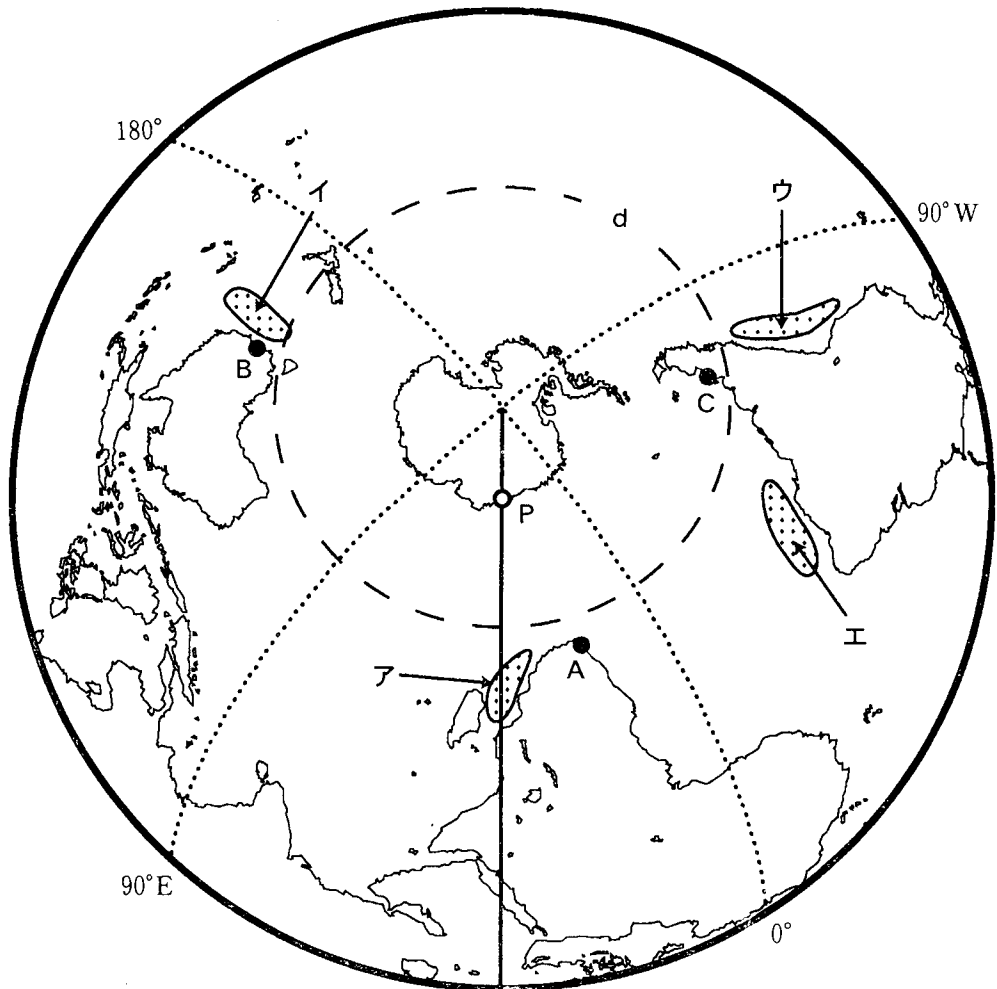


図 1

問 1 図 1 中の破線 d で示される緯度として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 南緯 20 度 ② 南緯 40 度 ③ 南緯 60 度 ④ 南緯 80 度

問 2 図 1 中の昭和基地(地点 P)と他地点との位置関係について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

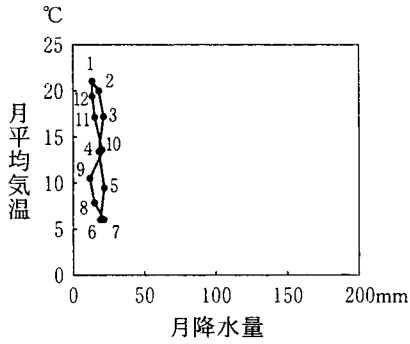
- ① 昭和基地から見て真西の方角には、南アメリカ大陸の東部が位置している。
 ② 昭和基地から真北の方角に進むと、太平洋を通過した後に日本列島に到達する。
 ③ 昭和基地からアフリカ大陸最北端や南アメリカ大陸最北端までの距離は、およそ 2 万 km である。
 ④ 図 1 中の A～C で示された各地点のうち、昭和基地までの距離が最も近いのは、C 地点である。

問 3 図 1 中のア～エで示された海域のうち、寒流が流れている海域を、次の①～④のうちから一つ選べ。

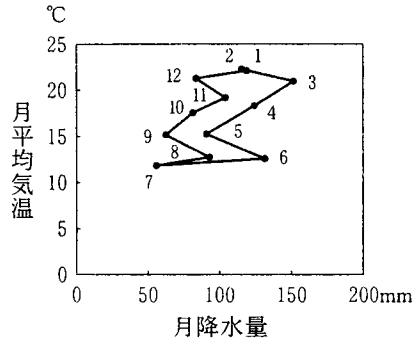
- ① ア ② イ ③ ウ ④ エ

地理B

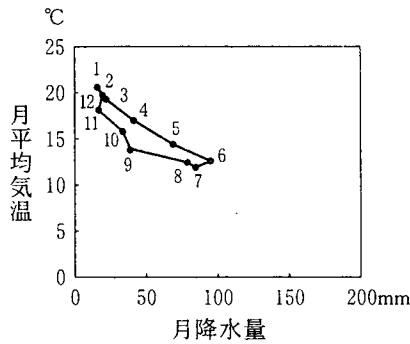
問 4 次の図2中のカ〜クは、図1中のA〜Cのいずれかの地点における月平均気温と月降水量を示している。カ〜クとA〜Cとの正しい組合せを、下の①〜⑥のうちから一つ選べ。 4



カ



キ



ク

『理科年表』により作成。

図 2

	①	②	③	④	⑤	⑥
カ	A	A	B	B	C	C
キ	B	C	A	C	A	B
ク	C	B	C	A	B	A

問 5 アフリカ、オーストラリア、南アメリカの各大陸とニュージーランドの地形・地質、および地震・火山活動について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 5

- ① アフリカ大陸は、主に安定陸塊から成るが、南部に新期造山帯の山脈が位置し、そこでは地震・火山活動が活発である。
- ② オーストラリア大陸は、中部から西部は主に安定陸塊から成るが、東海岸沿いに新期造山帯の山脈が連なり、そこでは地震・火山活動が活発である。
- ③ 南アメリカ大陸は、中部から東部は主に安定陸塊から成るが、西海岸沿いに新期造山帯の山脈が連なり、そこでは地震・火山活動が活発である。
- ④ ニュージーランド北島は、主に安定陸塊から成るが、ニュージーランド南島は新期造山帯に位置し、そこでは地震・火山活動が活発である。

問 6 南極大陸とその周辺海域にかかわる資源と開発、領土問題、および環境問題について述べた文として下線部が適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 6

- ① 南極海周辺諸国や、探検・科学的観測の実績をもつ国の中には、南極大陸の領有を主張している国もあるが、今のところ、南極条約によって領有権は凍結されている。
- ② 南極海における母船式船団による商業捕鯨は、1980年代中ごろ以降、IWC(国際捕鯨委員会)の管理下におかれ、禁漁区以外の海域で限定的に行われてきた。
- ③ 南極大陸には石炭や石油が埋蔵されており、ほかにも様々な鉱床の存在が推定されているが、南極条約の規制などもあって、鉱産資源の商業的採掘は行われていない。
- ④ 南極大陸の上空では、1980年代にオゾンホールが発見され、これが契機となって、オゾン層破壊物質に関する規制への世界的な取組が進められてきた。

地理B

問 7 次の表1は、南極海周辺諸国のうちの3か国について、漁獲量、魚介類輸出額、日本向け魚介類輸出額を示したものであり、表1中のX～Zはオーストラリア、チリ、南アフリカ共和国のいずれかである。X～Zと国名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 7

表 1

	漁 獲 量 (万トン)	魚介類輸出額 (100万ドル)	日本向け魚介類輸出額 (100万ドル)
X	327	1,782	550
Y	56	202	20
Z	21	798	327

統計年次は1998年。

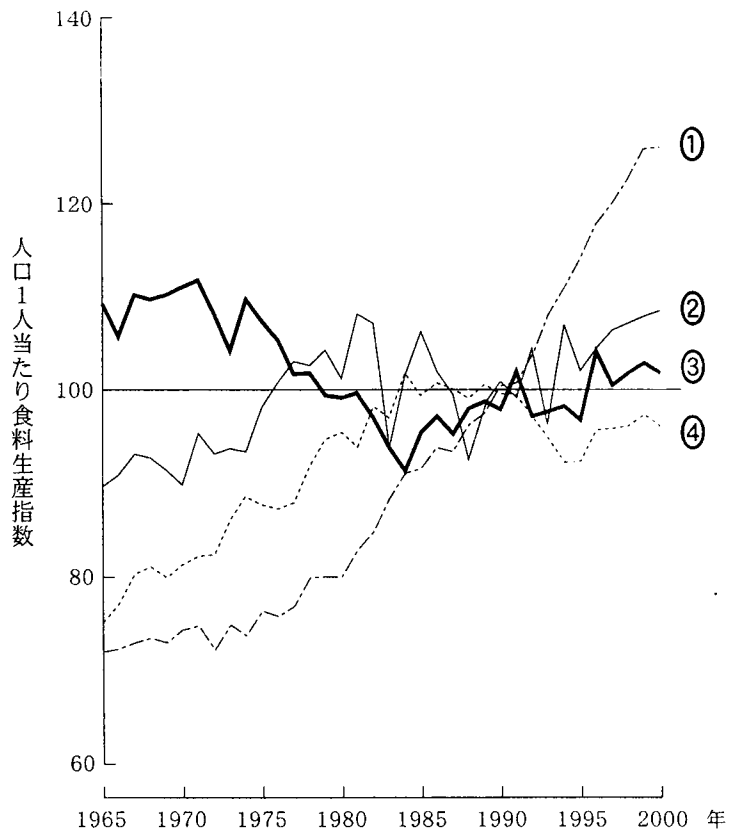
FAO, *Trade Yearbook* などにより作成。

	X	Y	Z
①	オーストラリア	チリ	南アフリカ共和国
②	オーストラリア	南アフリカ共和国	チリ
③	チリ	オーストラリア	南アフリカ共和国
④	チリ	南アフリカ共和国	オーストラリア
⑤	南アフリカ共和国	オーストラリア	チリ
⑥	南アフリカ共和国	チリ	オーストラリア

第2問 アジアの農業生産と食料の流通・消費に関する次の問い(問1～7)に答えよ。(配点 20)

問1 次の図1は、アジア、アフリカ、北アメリカ、ヨーロッパ*のいずれかにおける人口1人当たりの食料生産の水準を、1989年～1991年の平均を100とする指数で示したものである。アジアに該当するものを、図1中の①～④のうちから一つ選べ。 8

*アジアおよびヨーロッパには、独立国家共同体(CIS)とバルト三国を含まない。北アメリカには中部アメリカを含む。



FAOの資料により作成。

図 1

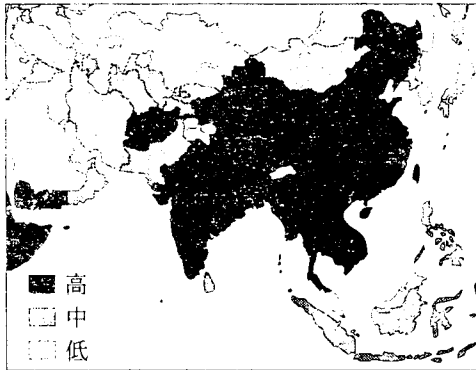
地理B

問 2 次の図 2 中の A～C は、アジアを中心とした地域の耕地率*、穀物の土地生産性**、農業就業人口率のいずれかの指標について、その高低を国別に示したものである。A～C と指標との正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。

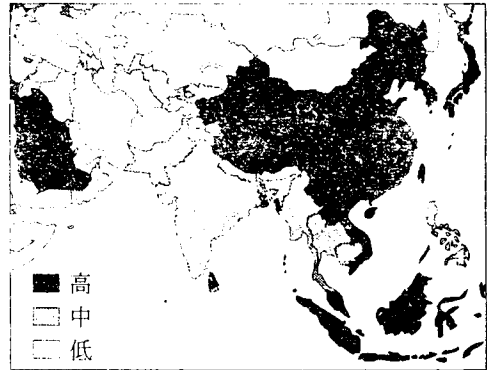
9

*国土面積に占める耕地面積の割合。

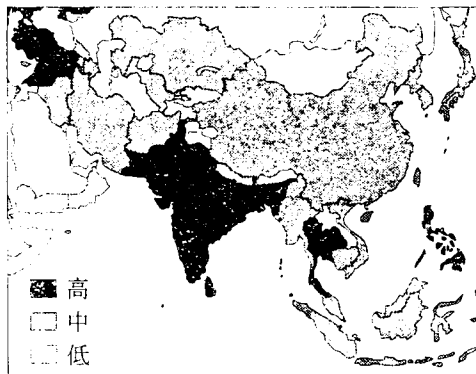
**収穫面積 1 ha 当たりの穀物の収量。



A



B



C

統計年次は耕地率が 1999 年、穀物の土地生産性が 2001 年、農業就業人口率が 2000 年。
国境係争地、データのない国、水域は白く示した。
FAO の資料などにより作成。

図 2

	A	B	C
①	耕地率	穀物の土地生産性	農業就業人口率
②	耕地率	農業就業人口率	穀物の土地生産性
③	穀物の土地生産性	耕地率	農業就業人口率
④	穀物の土地生産性	農業就業人口率	耕地率
⑤	農業就業人口率	耕地率	穀物の土地生産性
⑥	農業就業人口率	穀物の土地生産性	耕地率

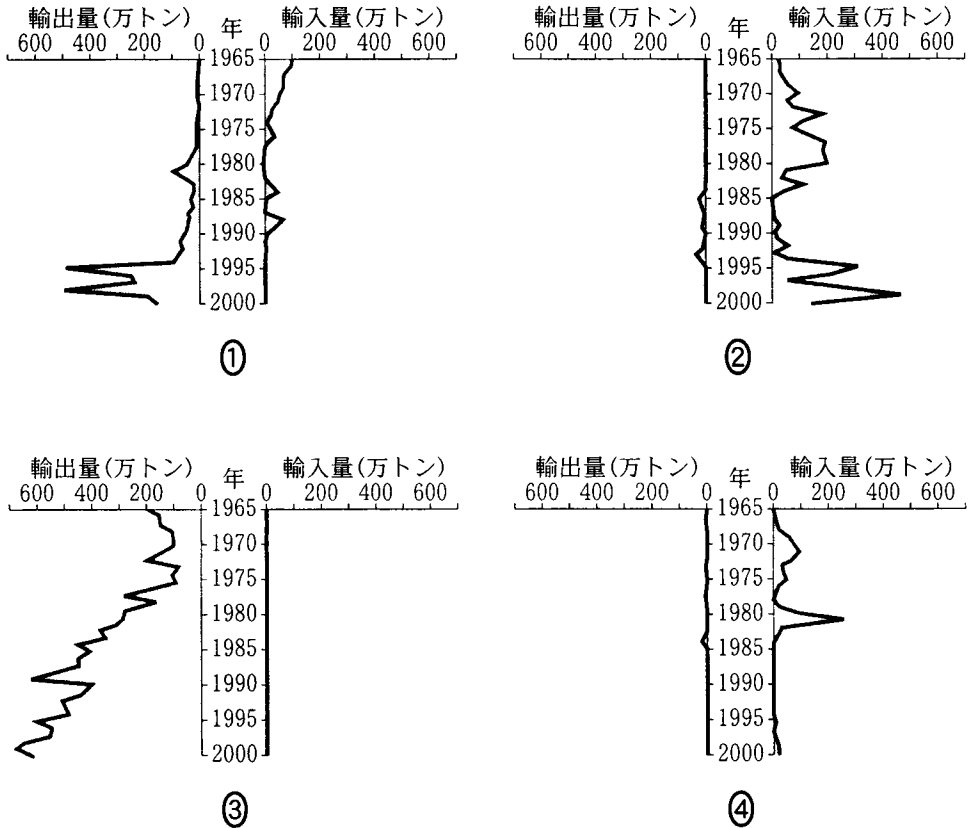
問 3 アジア各国の農業生産について述べた文として最も適当なものを、次の①～

④のうちから一つ選べ。 10

- ① フィリピンでは、アメリカ合衆国と日本の企業がバナナを大規模に栽培し、主に日本へ輸出している。
- ② バングラデシュでは、ガンジス、ブラマプトラ(ジャムナ)両河川の三角州(デルタ)で稲作が行われ、米は古くから輸出農産物の首位を占めてきた。
- ③ マレーシアでは、油ヤシやゴムの栽培が第二次世界大戦前に中国系住民によって始められ、戦後、コーヒーやカカオ栽培に転換されていった。
- ④ パキスタンでは、インダス川流域で灌漑設備が整うにつれて野菜栽培が盛んとなり、小麦の総生産量を上回るようになった。

地理B

問 4 次の図3は、インド、インドネシア、韓国、タイのいずれかにおける米の輸出量と輸入量の推移を、1965年～2000年について示したものである。タイに該当するものを、図3中の①～④のうちから一つ選べ。 11

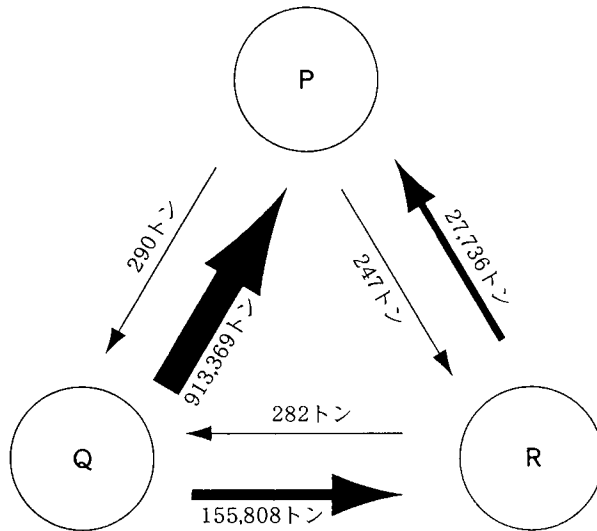


FAOの資料により作成。

図 3

問 5 次の図4は、東アジアの3か国間における野菜の貿易量を示したものであり、図4中のP～Rは韓国、中国*、日本のいずれかである。P～Rと国名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 12

*中国の数値には台湾を含まない。



統計年次は2000年。

財務省『日本貿易統計』などにより作成。

図 4

	①	②	③	④	⑤	⑥
P	韓国	韓国	中国	中国	日本	日本
Q	中国	日本	韓国	日本	韓国	中国
R	日本	中国	日本	韓国	中国	韓国

地理B

問 6 次の表1は、食料品を製造する日本の企業が海外に現地法人を設立した理由を進出地域ごとに示したものであり、表1中のX～Zは、アジア、オセアニア、北アメリカ*のいずれかである。X～Zと地域名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 13

*北アメリカはアメリカ合衆国とカナダを指す。

表 1

(単位：%)

理 由	X	Y	Z
進出先での販売を拡大するため	30.2	22.6	10.0
品質・価格面で日本への逆輸入が可能なため	10.3	11.9	23.3
土地・建物などが安価なため	8.7	8.6	20.0
原料などの現地調達が容易なため	6.4	4.5	13.3
良質で安価な労働力を確保できるため	6.4	26.8	6.7
その他	38.0	25.6	26.7

調査年次は1999年。

経済産業省『我が国企業の海外事業活動』により作成。

	X	Y	Z
①	アジア	オセアニア	北アメリカ
②	アジア	北アメリカ	オセアニア
③	オセアニア	アジア	北アメリカ
④	オセアニア	北アメリカ	アジア
⑤	北アメリカ	アジア	オセアニア
⑥	北アメリカ	オセアニア	アジア

問 7 日本における食料の生産・流通・消費は、世界各国・地域からの食料輸入に影響されてきた。1990年代以降の日本における食料の生産・流通・消費について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

14

- ① 米の国内生産量が増えたにもかかわらず、国内消費量が減ったため、アジア各国などへの米の輸出量は急増した。
- ② オレンジなどの輸入量の増加や、農業就業者の高齢化、また後継者の不足によって、柑橘類^{かんきつ}の国内生産量は減少した。
- ③ 消費者の国産和牛肉^{しこウ}の嗜好が強いため、輸入自由化以降も牛肉の輸入量は増加しなかった。
- ④ 漁法の改良や栽培漁業の拡大などによって、国内の漁獲量が増加したため、アジア各国からの水産物輸入量は減少した。

地理B

第3問 地中海とその周辺地域の自然と人々の生活に関する次の問い(問1～7)に答えよ。(配点 20)

問1 次の図1中のア～エで示された地域にみられる地形や景観について述べた文として誤っているものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 15



図 1

- ① アでは、河川の刻む谷が沈水して形成されたリアス式海岸がみられる。
- ② イでは、石灰岩の溶食によって形成されたカルスト地形がみられる。
- ③ ウでは、サンゴ礁しょうに囲まれた島々の点在する多島海がみられる。
- ④ エでは、河川の運搬した土砂が堆積たいせきして形成された三角州(デルタ)がみられる。

問 2 次の文①～④は、図 1 中の A～D のいずれかの地域における人々と自然環境とのかかわりについて述べたものである。地域 C を説明した文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 16

- ① 高原上のステップの中に塩湖が点在しているこの地域には、古代に建設された地下都市遺跡があり、この国有数の観光地となっている。
- ② 砂漠が広がるこの地域では、1950 年代以降に大規模な油田開発が行われ、採掘された石油はパイプラインで港湾に送られ、輸出されている。
- ③ この地域では、豊富な日射量をいかした果樹農業が発達したが、近年、過度の灌漑が土壌の塩類集積をまねき、砂漠化の危機も指摘されている。
- ④ 起伏の激しいこの地域では、古くから海岸と内陸を結ぶ交易路が開かれてきたが、リン鉱石をはじめとする豊富な鉱産資源の開発はあまり進んでいない。

問 3 地中海沿岸の国々の民族や言語・宗教について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 17

- ① 地中海北岸のラテン系民族が大半を占めている国では、カトリックが過半数を占めている。
- ② 地中海北岸のスラブ系民族が大半を占めている国では、プロテスタントが過半数を占めている。
- ③ 地中海東岸のイスラム教徒が大半を占めている国では、ペルシア語が公用語として用いられている。
- ④ 地中海東岸のユダヤ教徒が大半を占めている国では、アラビア語が公用語として用いられている。

地理 B

問 4 次の表 1 は、地中海沿岸諸国からの移民労働力を受け入れているいくつかの国について、各国に居住する外国人の人口を主要出身国別に示したものであり、表 1 中の X～Z はイタリア、トルコ、ポルトガルのいずれかである。X～Z と国名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 18

表 1

(単位：千人)

出身国 \ 受入国	ドイツ	フランス	スペイン
X	2,049	198	0
旧ユーゴスラビア	1,353	53	1
Y	599	253	21
Z	131	650	38
モロッコ	83	573	77
アルジェリア	17	614	4

旧ユーゴスラビアとは、1990 年以前にユーゴスラビア社会主義連邦共和国を構成していた地域を指す。

統計年次は 1997 年。『ヨーロッパ統計年鑑』により作成。

	X	Y	Z
①	イタリア	トルコ	ポルトガル
②	イタリア	ポルトガル	トルコ
③	トルコ	イタリア	ポルトガル
④	トルコ	ポルトガル	イタリア
⑤	ポルトガル	イタリア	トルコ
⑥	ポルトガル	トルコ	イタリア

問 5 次の図 2 中のカ～ケで示された港湾都市について説明した文として下線部が
 適当でないものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 19

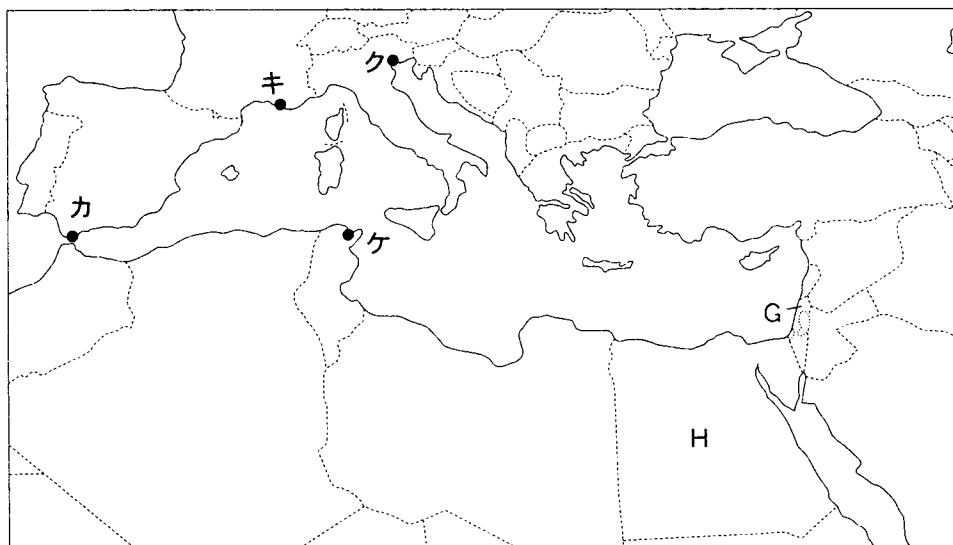


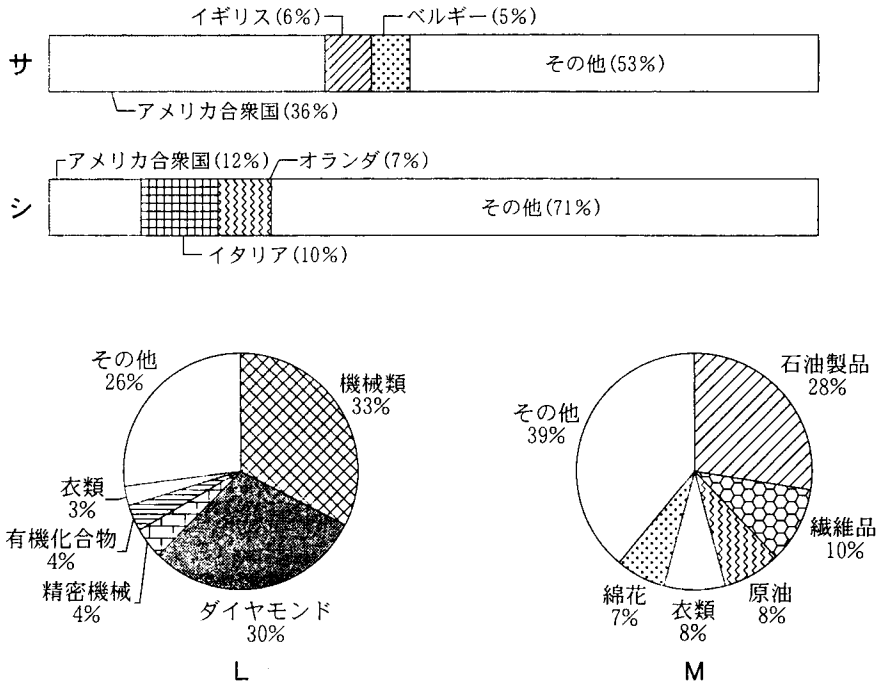
図 2

- ① 都市カは、大西洋と地中海の出入口に位置する港湾都市で、イギリスの海軍基地が置かれている。
- ② 都市キは、フランス最大の港湾都市で、アフリカからの移民の主要な上陸地でもあり、石油精製業や化学工業などが発達している。
- ③ 都市クは、運河や水路網が発達しており、かつては国際的な観光地として栄えたが、現在は宗教都市としての性格を強めている。
- ④ 都市ケは、リン鉱石などの輸出港であり、古い町並みが残る旧市街とフランス植民地時代以降に形成された新市街によって構成されている。

地理B

問 6 次の図3は、図2中のG国とH国のいずれかについて、輸出相手国別(サ・シ)および輸出品目別(L・M)にみた輸出額の構成比を示したものである。G国の輸出相手国と輸出品目との正しい組合せを、下の①~④のうちから一つ選べ。

20



統計年次は 1999 年。
『国際連合 貿易統計年鑑』などにより作成。

図 3

	①	②	③	④
輸出相手国	サ	サ	シ	シ
輸出品目	L	M	L	M

問 7 次の表 2 は、地中海沿岸諸国で栽培されている主要な農作物について、その生産量が世界の生産量に占める割合を国別に示したものであり、表 2 中の P～R はオリーブ、オレンジ、ブドウのいずれかである。P～R と農作物名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 21

表 2

(単位：%)

	P	Q	R
イタリア	20.4	15.7	3.4
スペイン	30.8	9.1	4.0
ギリシャ	14.7	1.9	1.4
トルコ	4.4	5.5	1.6
チュニジア	7.4	0.2	0.2
フランス	0.1	12.2	0.0

統計年次は 2000 年。

FAO, *Production Yearbook* により作成。

	P	Q	R
①	オリーブ	オレンジ	ブドウ
②	オリーブ	ブドウ	オレンジ
③	オレンジ	オリーブ	ブドウ
④	オレンジ	ブドウ	オリーブ
⑤	ブドウ	オリーブ	オレンジ
⑥	ブドウ	オレンジ	オリーブ

地理B

第4問 世界および日本の都市と人口に関する次の問い(問1～7)に答えよ。

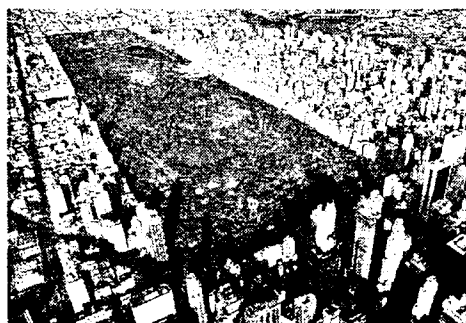
(配点 20)

問1 次の写真1中のA～Cは、歴史や文化の異なる三つの大都市について、都市内の緑地とその周辺の様子を示したものである。また、次ページの図1中のア～ウは、それらの大都市の位置を示したものである。A～Cとア～ウとの正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。

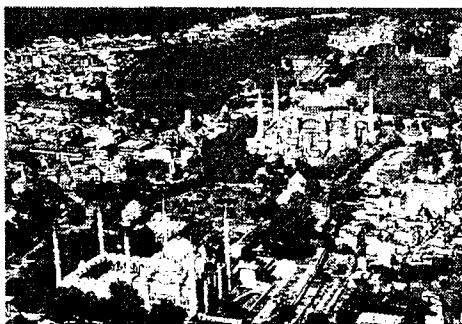
22



A



B



C

写真 1



図 1

	①	②	③	④	⑤	⑥
A	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
B	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
C	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問 2 次の①～④の文は、中国の四つの都市、シェンチェン(深圳)、シャンハイ(上海)、テンチン(天津)、ホンコン(香港)のいずれかについて述べたものである。シェンチェンについて述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 23

- ① 経済技術開発区をもつ直轄市で、首都の外港として機能している。
- ② 中国の特別行政区で、国際的な金融センターとして機能している。
- ③ 中国最大の商工業都市で、外国資本を導入した開発が進展している。
- ④ 経済特区に指定され、工業化と市街地の拡大が急速に進んでいる。

地理B

問 3 次の図2は、ヨーロッパのある都市の一部を示した地図(一部改変)である。
この図から読み取れることを述べた文として最も適当なものを、下の①～④の
うちから一つ選べ。 24



図 2

- ① D川の両岸では、下流に向かうほど建物の密集度が高くなっている。
- ② D川の右岸では、鉄道の駅を中心に放射状にオフィス街が広がっている。
- ③ D川の左岸には、歴史的な観光資源を豊富に有する旧市街がみられる。
- ④ この都市では、自動車交通網が発達したため、港湾施設はみられない。

問 4 次の表1中の①～④は、インドネシア、スペイン、ナイジェリア、日本のいずれかについて、1960年の都市人口率、1960年～1999年の都市人口の増加率、1999年の都市人口を示したものである。スペインに該当するものを、表1中の①～④のうちから一つ選べ。 25

表 1

	都市人口率 1960年(%)	都市人口の増加率 1960～1999年(%)	都市人口 1999年(万人)
①	62.5	70.3	9,944
②	56.6	78.8	3,067
③	14.6	511.2	8,345
④	14.4	527.3	4,697

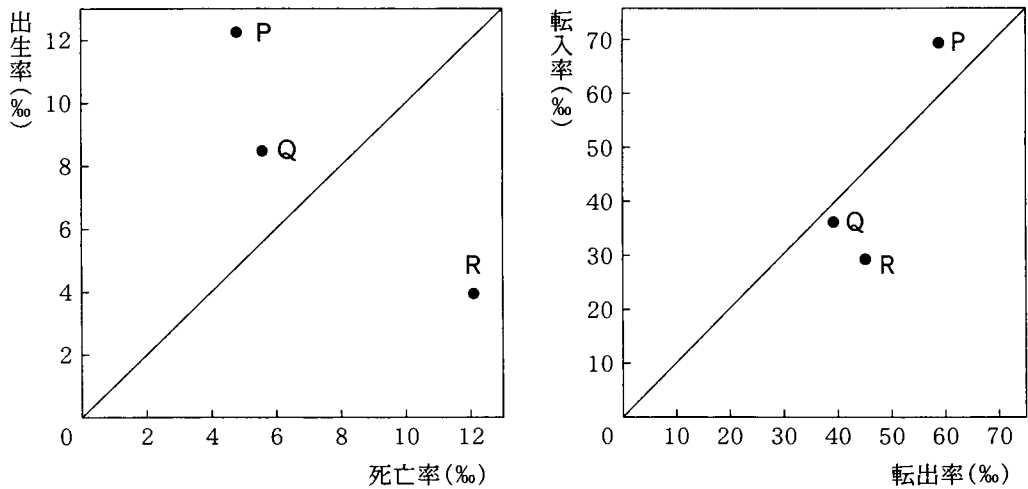
『世界国勢図会』により作成。

問 5 日本の都市の景観と機能について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

- ① 企業の本社・本店や営業拠点が集中しているところは、CBD(中心業務地区)とよばれており、その面的な広がり、市街地の範囲と一致している。
- ② 第二次世界大戦後の市町村合併によって市域が広がった行政市では、市街地が市域全体に拡大し、農地はみられなくなった。
- ③ 大都市周辺の計画的に建設されたベッドタウンでは、住宅地に隣接して大規模な工業団地が造成され、職住近接が実現されている。
- ④ 都市圏は、中心となる都市およびそれと密接に結びついた周辺地域によって構成され、その面的な広がり、通勤・通学・買い物など人々の行動によってとらえることができる。

地理B

問 6 次の図3は、人口増減の特徴が異なる日本の三つの都市P～Rについて、1年間の出生と死亡の関係、および転入と転出の関係をそれぞれ示したものである。また、下の文カ～クは、都市P～Rのいずれかにおける人口増減の特徴を述べたものである。P～Rとカ～クとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 27



統計年次は2000年度。東洋経済新報社『地域経済総覧』により作成。

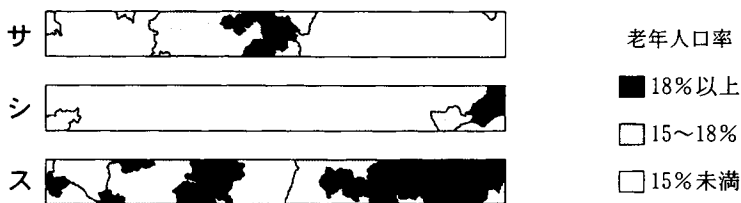
図 3

- カ 宅地化の最盛期を過ぎており、人口は伸び悩んでいる。
- キ 宅地化が急速に進んでおり、人口増加が著しい。
- ク かつての中心的な産業が衰退し、現在も人口減少が続いている。

	①	②	③	④	⑤	⑥
P	カ	カ	キ	キ	ク	ク
Q	キ	ク	カ	ク	カ	キ
R	ク	キ	ク	カ	キ	カ

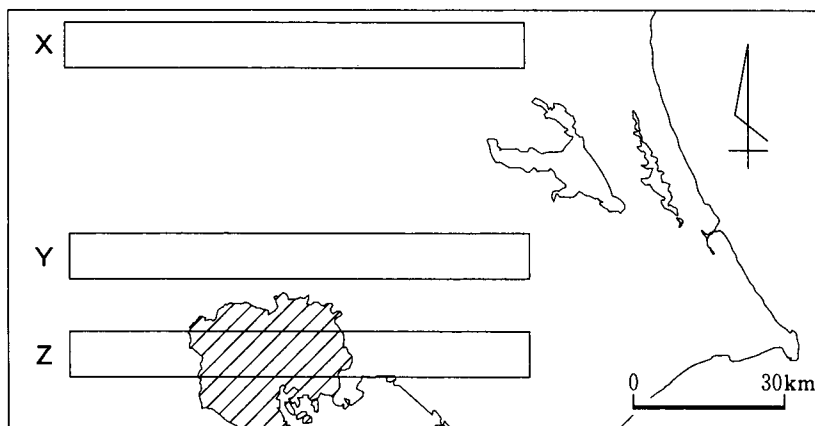
問 7 次の図4は、東京大都市圏とその周辺における老年人口率(総人口に占める65歳以上人口の割合)の分布図から、緯度の異なる三つの地帯サ～スを切り取って示したものである。地帯サ～スの位置は、下の図5中のX～Zのいずれかである。X～Zとサ～スとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

28



統計年次は2000年。総務省統計局『統計でみる市区町村のすがた』により作成。

図 4



図中の斜線で示した部分は東京特別区部を示す。

図 5

	①	②	③	④	⑤	⑥
X	サ	サ	シ	シ	ス	ス
Y	シ	ス	サ	ス	サ	シ
Z	ス	シ	ス	サ	シ	サ

地理 B

第 5 問 高校生のカオルさんたちは、次の図 1 の衛星画像中に示した松本盆地と諏訪湖の周辺地域を対象として、自然環境や人間活動にかかわる調査を行った。この調査に関する下の問い(問 1～7)に答えよ。(配点 20)

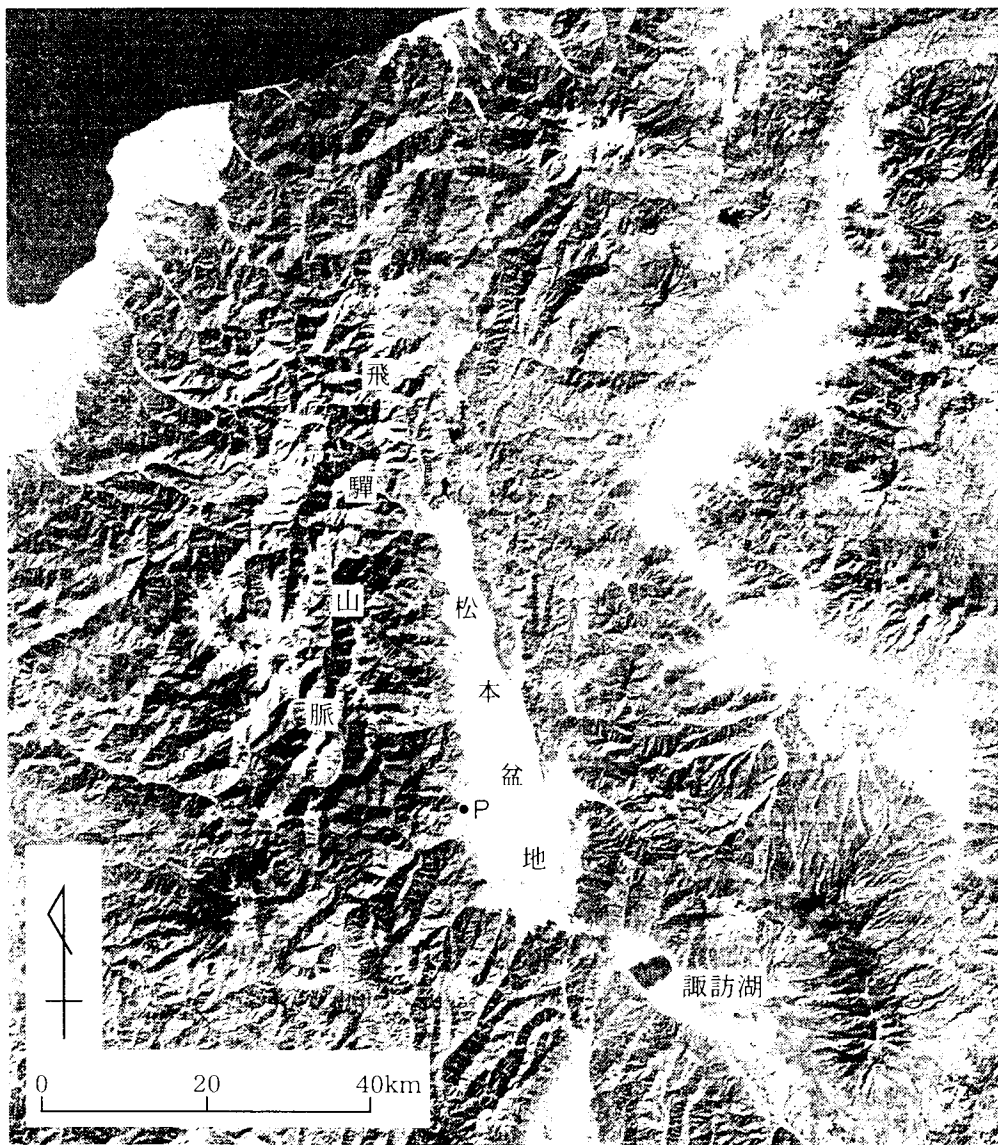


図 1

問 1 カオルさんたちは、松本市とその周辺地域について調査を行うことになった。調査の目的と方法について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 29

- ① 都市との交流活動に取り組む松本市近隣の農村において、その交流活動に対する村民の意識を、聞き取りやアンケート調査から明らかにする。
- ② 松本市中心部に観測点を1か所設け、毎時の気温と湿度を2日間にわたって観測し、そのデータからヒートアイランド現象の有無を明らかにする。
- ③ 1950年ごろと近年の、松本盆地を撮影した空中写真を比較することによって、農地の所有者の移り変わりを明らかにする。
- ④ 松本市に隣接する市町村ごとに年齢階級別人口の資料を入手し、人口ピラミッドを作成することによって、日常生活における住民の行動圏を明らかにする。

問 2 カオルさんたちは、諏訪湖周辺に多くの工場が立地していることを知った。近年の日本の内陸地域における工業について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 30

- ① 周辺の山岳地域における水力発電所の整備によって、豊富な電力が得られるようになり、鉄鋼業の工場が多く立地している。
- ② 減反政策によって水田から桑畑への転換が進んで養蚕農家が増え、製糸業の工場が多く立地している。
- ③ 高速道路網などの整備が行われた地域では、輸送の便が向上し、エレクトロニクス産業や機械工業などの工場が多く立地している。
- ④ インターネットの普及によって、内陸部でも海外市場に関する情報が得やすくなり、石油化学工業の工場が多く立地している。

地理B

問 3 カオルさんたちは、諏訪湖における水質変化を調査し、1970年代に進行した湖水の汚染が、近年、下水道の整備などによって改善されつつあることを知り、他の湖沼の状況と比較してみた。次の表1中のア～ウは、霞ヶ浦^{かすみがうら}(茨城県)、支笏湖^{しこつ}(北海道)、琵琶湖^{びわ}(滋賀県)の最大水深と、1978年度および2000年度におけるCOD*とを示したものである。表1中のア～ウと湖沼の名称との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 31

*化学的酸素要求量。値が大きいほど汚れている。各湖沼の全観測地点における年平均値。

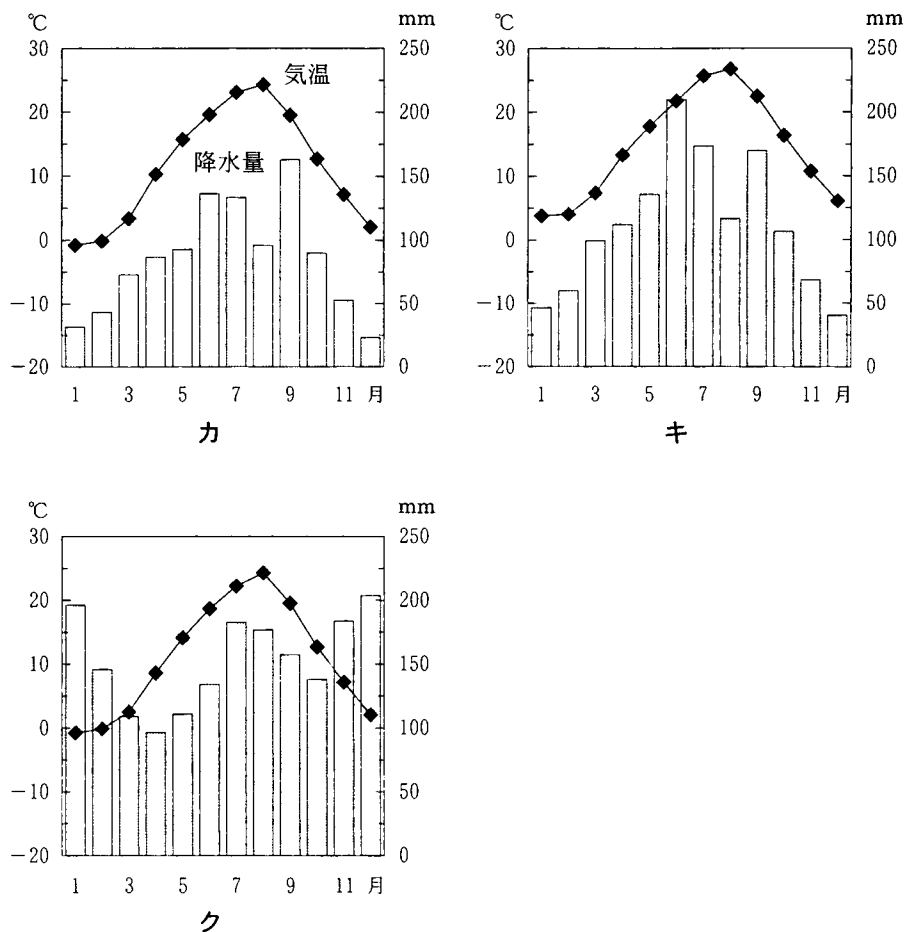
表 1

	最大水深 (m)	COD(mg/l)	
		1978年度	2000年度
諏訪湖	7.6	10.0	6.0
ア	7.1	11.2	7.6
イ	103.8	2.9	2.9
ウ	360.1	0.5	0.8

環境省の資料などにより作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	霞ヶ浦	霞ヶ浦	支笏湖	支笏湖	琵琶湖	琵琶湖
イ	支笏湖	琵琶湖	霞ヶ浦	琵琶湖	霞ヶ浦	支笏湖
ウ	琵琶湖	支笏湖	琵琶湖	霞ヶ浦	支笏湖	霞ヶ浦

問 4 カオルさんたちは、松本市の月平均気温と月降水量を、同様に盆地に位置する新庄市(山形県)および奈良市(奈良県)と比較してみた。次の図 2 中のカ～クと都市名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 32



気象庁の資料により作成。

図 2

	①	②	③	④	⑤	⑥
カ	新庄市	新庄市	奈良市	奈良市	松本市	松本市
キ	奈良市	松本市	新庄市	松本市	新庄市	奈良市
ク	松本市	奈良市	松本市	新庄市	奈良市	新庄市

地理B

問 5 次の図3は、カオルさんたちが図1中の松本盆地のP地点付近を調査する際に使用した2万5千分の1地形図(原寸, 一部改変)である。図3から読み取れることを述べた文として最も適当なものを, 下の①~④のうちから一つ選べ。

33

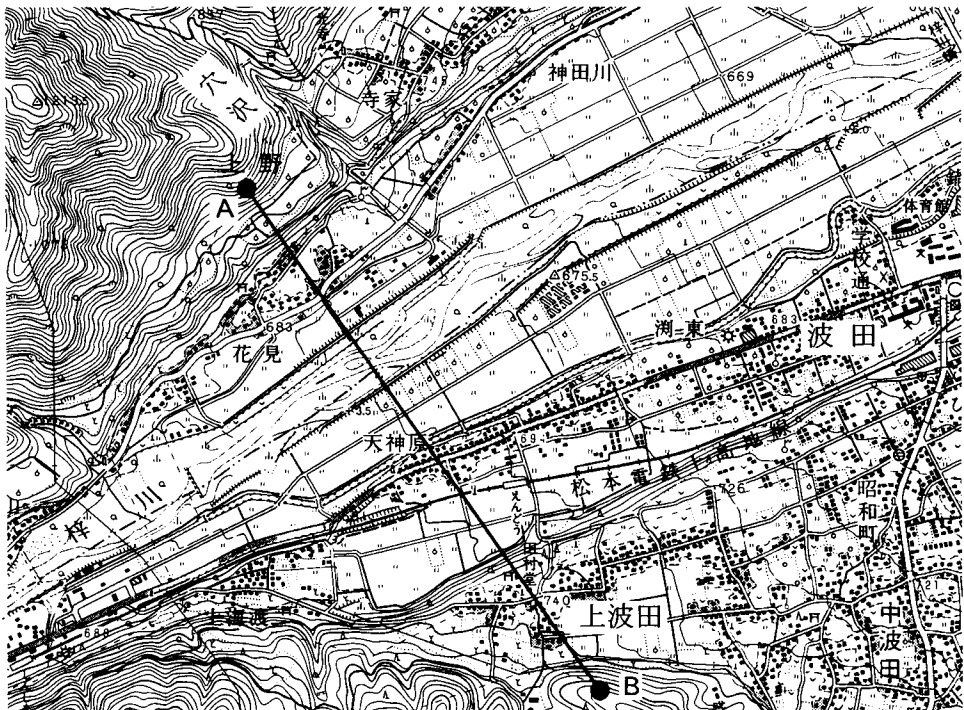


図 3

- ① ^{あずさ}梓川の右岸に位置する^{はた}波田の集落周辺には, 洪水の流れを抑制する効果をもつ竹林が広くみられる。
- ② 梓川南方に位置する上波田の集落周辺には, 川からの距離が遠く水の便が悪いため, 水田がほとんどない。
- ③ 梓川に北から合流する穴沢には, 水力発電に利用されているダムがみられる。
- ④ 梓川沿いには, 洪水の被害を軽減するために, 堤防を不連続にした場所がある。

問 6 カオルさんたちは、梓川に沿って河岸段丘が発達していることから、図 3 中に示した A 地点と B 地点とを結んだ線に沿って地形断面図を作成した。その地形断面図として最も適当なものを、次の図 4 中の①～④のうちから一つ選べ。
ただし、水平距離に対して垂直距離は約 3 倍で表現してある。 34

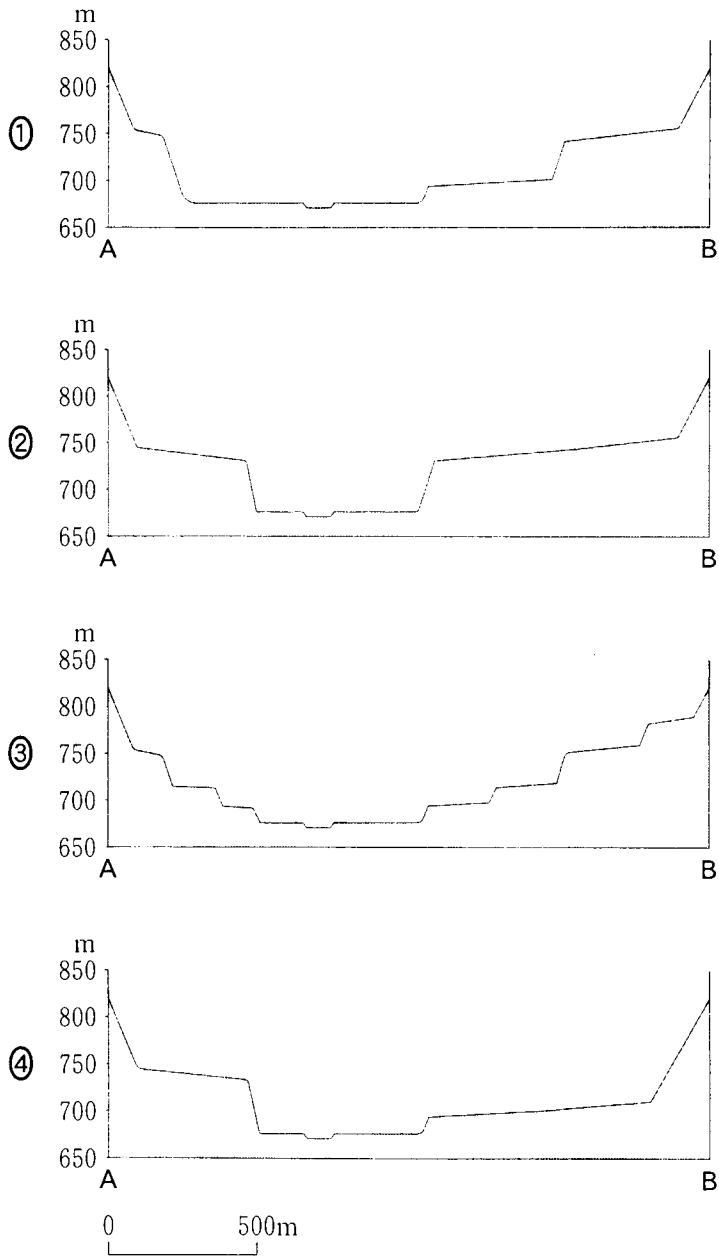


図 4

地理B

問 7 カオルさんたちは、松本盆地周辺に多数の活断層が分布していることを知った。活断層について述べた文として下線部が誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 35

- ① 活断層の活動は、地震を起こすとともに、地層だけでなく地表面も変形させることが多いので、地形によって活断層の位置がわかる可能性がある。
- ② 活断層の活動によって地震が発生した場合、内陸の湖でも高潮が発生する可能性がある。
- ③ 活断層は、将来地震を起こすおそれがあり、活断層の近くでは、地震時の強い振動によって、建築物に大きな被害が出る可能性がある。
- ④ 古い史料の記述から、活断層の活動によって、いつ地震が発生したかを推定できる可能性がある。